

日本とカムデンの学校生活の違い

伊藤 寧杏 (中学3年)

私は、カムデンに滞在中、カムデンにあるカムデンハイスクールとマワラ小学校に行き、日本とカムデンの学校設備や、授業の様子、お昼など学校生活の流れの違いを調べてきました。

まず、日本の学校生活の流れは、小中学校の大体が8時までに席に着いていなければいけません。小学校は1, 2時間目が終わった後に休み時間が入り、その後、3, 4時間目を過ごしたら、給食を食べお昼休みが入って最高で6時間まで授業があります。

中学校は1, 2, 3, 4時間目を続けて行い、給食を食べて、お昼休みがあり、5, 6時間目の授業を受け、それぞれの部活に行ったり、家に帰ったりして学校が終わります。

これらのことに比べカムデンの学校は、小学校と幼稚園が一緒にあり、中学校と高校が一緒にあります。ちなみに中学生を表すときは7年生、8年生、9年生などと表し、高校も10年生などと表します。

小学校は基本的に幼稚園みたいな感じでした。お昼は皆お弁当があり、モーニングティーも皆持ってきます。

カムデンハイスクールは、日本の大学みたいに選択式の授業で、登校した際には職員室に行って登校したことを知らせました。早退する際にも職員室に報告しなければいけません。トイレを使うときは次の授業の先生に紙をもらって、職員室にある男女それぞれ1つずつのトイレしか使えません。大変なのはこれだけです。

校則は、ピアスOK、髪染めOK、スマホ・携帯OK, などとかなりゆるかったです。でも、皆ノリが良く、やさしくて、授業では積極的に手を上げて発表をします。とても、楽しかったです。



小学校の図書室